［ 診療補助部 ］

画像診断部

技師長　金子　直樹

1 業務体制

- 技師長
  - 一般撮影　（４名）
  - CT　（４名）
  - MRI　（２名）
  - TV・DSA・ESWL（１名）
  - 血管撮影　（２名）
  - マンモグラフィ　（１名）

●人員構成（2025年4月1日～2026年3月31日）

職員数		2025年度（対前年度）		
2024	2025	増員	減員	差引
19	22	3	1	+2

【資格および認定資格取得者】

・一般撮影技能検定（既取得者１名）
・Ｘ線ＣＴ検査技能検定（既取得者１名）
・ＭＲＩ検査技能検定（既取得者１名）
・マンモグラフィ撮影診療放射線技師（既取得者７名）
・救急撮影認定技師(既取得者１名)

2 業務内容

[一般撮影]：胸部、腹部、頭部、胸郭部、骨盤部、上肢、下肢、ポータブル撮影など
[C　　T]：単純・造影全身臓器、冠動脈、頭頚部動脈、大動脈、骨盤下肢動脈など
[M R　I]：単純・造影全身臓器、頭頚部動脈、MRCP、椎体、骨盤腔、骨盤下肢動脈など
[T　　V]：胃透視、注腸、ERCP、整形系、泌尿器系、外科系、その他造影など
[血管撮影]：CAG、PCI、アブレーション、PTA、TEVAR、EVAR、頭頚部、腹痛など
[マンモグラフィ]：乳腺撮影
[そ の 他]：造影検査用ルート穿刺業務、脳神経外科手術支援、整形外科手術支援、PACSへの画像取り込み、CD・DVDへの画像書出し、線量管理、放射線安全利用のための研修、MRI安全管理など

3 業務状況

●一般撮影：2025年度と前年度の月別件数を比較（グラフ１）

入院･外来件数を比較すると、前年度外来件数月平均は3,556件に対し2025年度は1,837件と減少した。前年度入院件数月平均は1,804件に対し2025年度は1,143件と減少した。全体として、外来が20,625件減少、入院が7,929件減少となり外来・入院共に減少となった。2025年３月から電子カルテシステム変更に伴い部位件数から患者件数の集計となったため件数が減っている。

●乳腺撮影：2025年度と前年度の月別件数を比較（グラフ２）

前年度月平均が134件に対し、2025年度は113件と減少した。８月の落ち込みが大きく月平均で21件の減少となった。（グラフ２）

●CT：2025年度と前年度の月別件数を比較（グラフ３）
/入院・外来件数（グラフ４）

10ヵ月において前年度を上回り、月平均1,639.6件で前年度に比べ51.2件増加し、合計614件の増加となった。（グラフ３）

入院･外来件数を比較すると、合計件数は外来件数に比例し変化しており、入院件数は月平均313件で昨年度に比べ横ばいであった。外来件数は月平均1,326件で昨年度月平均1,272件に比べ４％増加した。（グラフ４）

●CT：2025年度月別・部位別件数を比較（表１）

相対比較すると、胸腹部29.8%、頭頚部29.0%、腹部18.9%、胸部10.6%、冠動脈4.3%である。

前年度と比較すると、胸部と腹部が大きく減少し、胸腹部と頭部が増加した。

●MRI：2025年度と前年度の月別件数を比較（グラフ５）
/入院・外来件数（グラフ６）

７ヵ月において前年度を上回り、月平均524.8件で前年度に比べ29.9件増加し、合計で359件増加した。（グラフ５）

入院･外来件数を比較すると、合計件数は外来件数に比例し変化しており、入院件数は月平均108件で昨年度件数より122件増加し、外来件数は月平均417件で昨年度件数より233件の増加となり入院・外来共に増加した。（グラフ６）

●MRI：2025年度月別・部位別件数を比較（表２）

相対比較すると、頭頚部58.6%、椎体12.1%、四肢5.2%、骨盤･胸腹部24.1%である。前年度と比較すると、頭頚部が減少しその分椎体が増加した。

●TV・DSA・ESWL：検査内容別件数を比較（グラフ７）
/入院・外来件数（グラフ８）

消化器系13.8%（上部消化管透視13.0%、大腸0.6%）、泌尿器系11.6%（IVU０%、CUG3.0%、RP0.0%、ESWL７%）、内視鏡22.4%（ERCP･CF）、その他34.5%（ドレーン挿入･造影、イレウス管挿入･造影、整形検査）、血管撮影17.7%の内訳となっている。前年度と比べ消化器系が大きく減少した。（グラフ８）

●診療科別装置使用率を比較（グラフ９）

[ＣＴ]：救急外来45.7%、内科9.9%、脳神経外科9.0%、他病院8.1%、その他27.3%
[MRI]：脳神経外科28.7%、他病院17.6%、整形外科9.2%、消化器内科8.4%、その他36.1%
[TV・DSA・ESWL]：ドック･健診14.7%、外科18.8%、

消化器科26.1%、その他40.4%

【XP】：整形外科20.3%、循環器内科25.5%、救急外来18.8%、内科10.8%、ドック・健康診断5.8%、その他18.8%

各モダリティーによる診療科別装置使用率では、救急外来で昨年度と比較するとCTは16%増、MRIでは9.6%増とその他の装置すべてで使用率が大きく増加した。

4 特に力を入れたこと

・スタッフ育成
スプレッドシートを活用した新人スタッフの教育方法の見直しと教育を行った。

・電子カルテ更新に伴う業務の見直しと効率化
業務フローを再構築し、運用の最適化と教務効率の向上を図った。

・紹介用画像診断予約システムの見直しと再構築
キントーンを活用し、24時間対応可能な紹介患者向け画像診断予約システムを構築し利便性と業務効率の向上を図った。

・職員向けマンモグラフィ健診の導入と運用
装置の空き枠を有効活用し、健康経営への貢献とスタッフの経験値の向上を図った。

・看護スタッフへMRIの安全講習
新人看護師へのMRI安全講習を行い、安全文化の醸成を図った。

・RPA（Robotic Process Automation）の活用と業務効率化
月次日報の作成の一部自動化による業務効率化を図った。

5 今後の課題

2026年度の目標

◆地域の「画像診断センター」として、良質かつ安全な画像情報の提供

◆定型業務の自動化（RPA）、AIによるデータ処理・分析、キントーンによる業務アプリの構築を通じた、業務の省力化・迅速化・可視化の実現

◆医療スタッフの共同・連携によるチーム医療推進及び救急医療体制の観点から
・部内症例検討会開催　・夜間救急体制の強化

◆マンモグラフィの機器更新による検査の質向上

●MRI

［2026年度の目標］3.0T+1.5T　2台

［月間平均件数］550件以上

月間平均件数増加に向けた３つの具体的取り組み

1）より積極的に各診療科の要望を実現させるための研鑽
2）院内・外からの件数増加を目的に当日至急依頼への対応
3）紹介患者集客のための予約システム再構築
4）外部ドック会社の活用によるドック件数の増加

●CT

［2026年度の目標］320CT+80CT　2台

［月間平均件数］2,000件以上

月間平均件数増加に向けた３つの具体的取り組み

1）新規検査の導入（ドックCT全般、肺がんCT検診、冠動脈CT）
2）外部ドック会社の活用によるドック件数の増加
3）院内・外からの件数増加を目的に当日至急依頼への対応
4）紹介患者集客のための予約システム再構築

●マンモグラフィ

［2026年度の目標］

［月間平均件数］130件以上

検診リピーターを確保するための撮影技術の向上

●病診連携による依頼件数の増加ならびに院内・病診連携からの緊急依頼対応

CTの紹介件数1,606件、前年度は1,622件と16件減少。MRIの紹介件数1,009件、前年度は1,159件と150件の減少がみられた。

新型コロナウイルス感染症の流行から５年が経過し、CT・MRIの紹介件数はコロナ禍以前の水準へと回復している。さらに病院の指針である断らない医療が浸透し、救急外来からの画像診断依頼が増加している。特にCTでは昨年よりも16%の増加で45.7%と過半数を占めている。

一方で医療機関との連携ではCT及びMRIで共に減少がみられ、さらなる質の高い画像診断を提供することで、近隣の医療機関からの信頼をより一層確立するとともに、緊急依頼への迅速な対応を図っていく。

また、近隣クリニックからの予約負担軽減を目的として、24時間対応可能な予約システムのPR活動を積極的に展開し、さらなる件数増加に繋げていく。

●専門技師・認定技師の資格習得

近年、画像診断の高度化・細分化が進み、特定の領域において高度な知識と技術が求められる一方で、日常診療では、安全かつ質の高い医療を安価に提供することが常に求められる。

こうした課題に対応するため、当部門では部門責任者を中心とした人材教育に重点を置き、日本救急撮影技師認定・マンモグラフィ撮影認定・日本X線CT専門技師などの専門技師・認定技師資格の取得を推進している。これにより、スタッフの専門性を向上させ、高度なチーム医療の一員としての役割を果たすことを目指していく。

今後も最新技術の導入と教育体制の強化を図り、より質の高い画像診断を提供することで、医療の発展に貢献していく。

●中・長期計画

①近隣クリニックからのオンライン予約拡充

当院では、近隣クリニックからの検査予約に対応するため、紹介患者向け画像診断予約システムを構築し、24時間対応を実現した。

今後はさらなるシステムの周知・改善を図り、より多くの近隣クリニックで活用していただくことで、診療の効率化と医療提供者の負担軽減に貢献していきたい。

また、システムの利便性向上に向けて、予約管理の最適化や連携機能の強化を進め、紹介医の皆様が安心して活用できる環境を整えていく予定である。これにより、地域医療の質を向上させ、迅速かつ正確な画像診断の提供に努めていきたい。

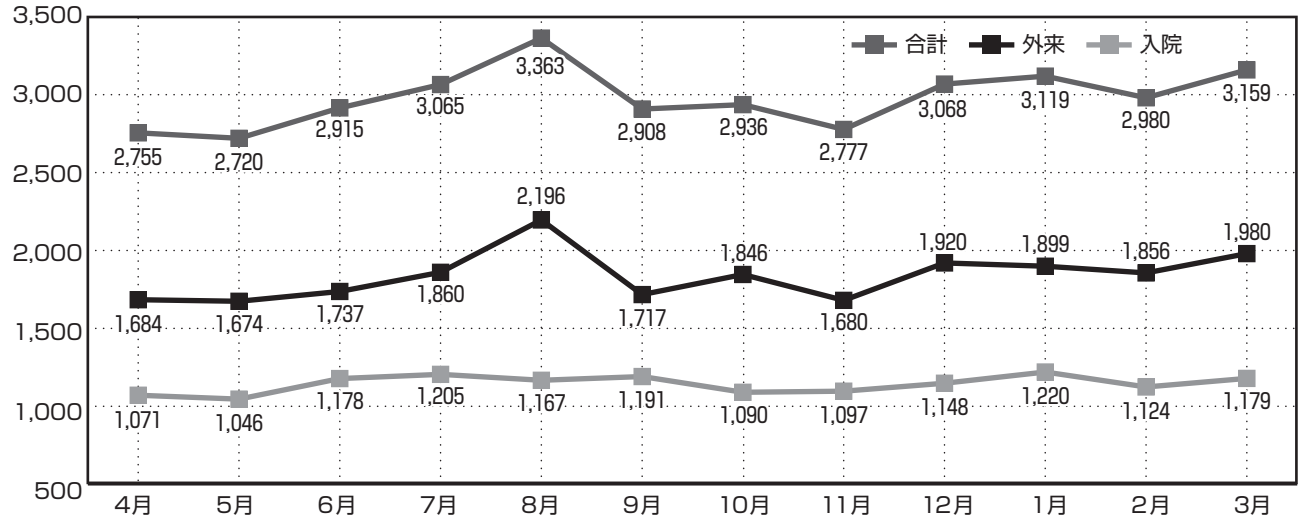
②乳腺検査装置・骨密度撮影装置の更新計画

乳腺検査装置は導入から16年が経過し、修理対応が困難になっている。新しい装置では、トモシンセシス技術などの機能を搭載することで、より質の高い検査が可能となるため、更新を進める計画である。

また、今後の超高齢化社会において、二次性骨折の予防が重要な課題となる。これに対応するため、骨密度測定には全身DXA法が推奨されており、より正確な評価が可能となることから、骨密度撮影装置の導入を検討している。

これらの装置更新を通じて、診断精度の向上を図り、患者にと

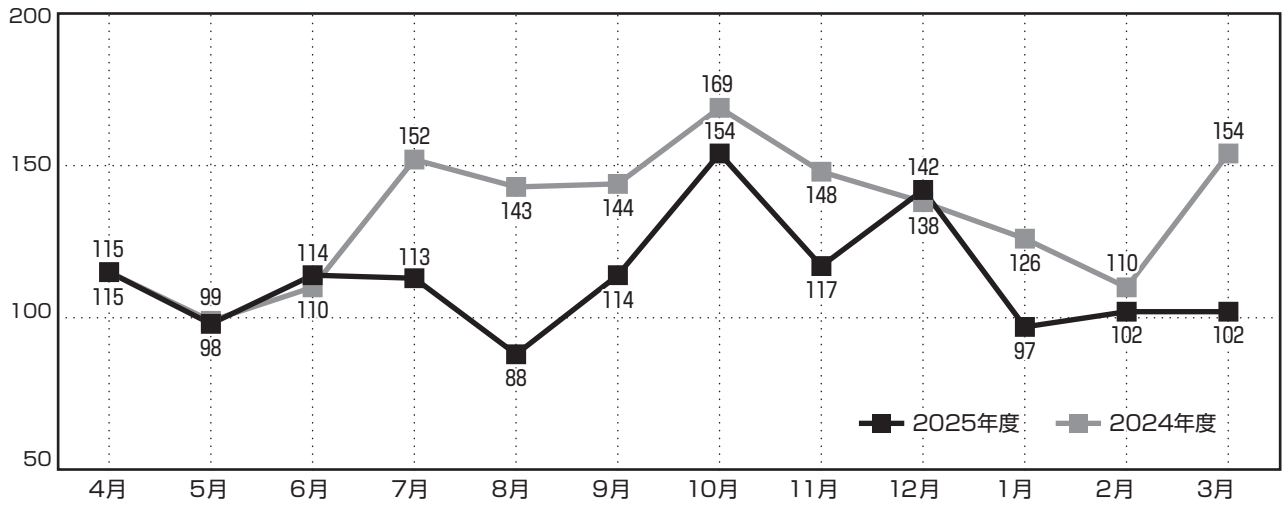
●一般撮影入院・外来件数（グラフ1）



単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	増減	月平均	前年度月平均
外来	1,684	1,674	1,737	1,860	2,196	1,717	1,846	1,680	1,920	1,899	1,856	1,980	22,049	42,674	△20,625	1,837	3,556
入院	1,071	1,046	1,178	1,205	1,167	1,191	1,090	1,097	1,148	1,220	1,124	1,179	13,716	21,645	△7,929	1,143	1,804
合計	2,755	2,720	2,915	3,065	3,363	2,908	2,936	2,777	3,068	3,119	2,980	3,159	35,765	64,319	△28,554	2,980	5,360

●乳腺撮影件数（グラフ2）



単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
2025年度	115	98	114	113	88	114	154	117	142	97	102	102	1,356	113
2024年度	115	99	110	152	143	144	169	148	138	126	110	154	1,608	134
増減	0	△ 1	4	△ 39	△ 55	△ 30	△ 15	△ 31	4	△ 29	△ 8	△ 52	△ 252	△ 21

って安心・安全な医療環境を提供していく。

【まとめ】

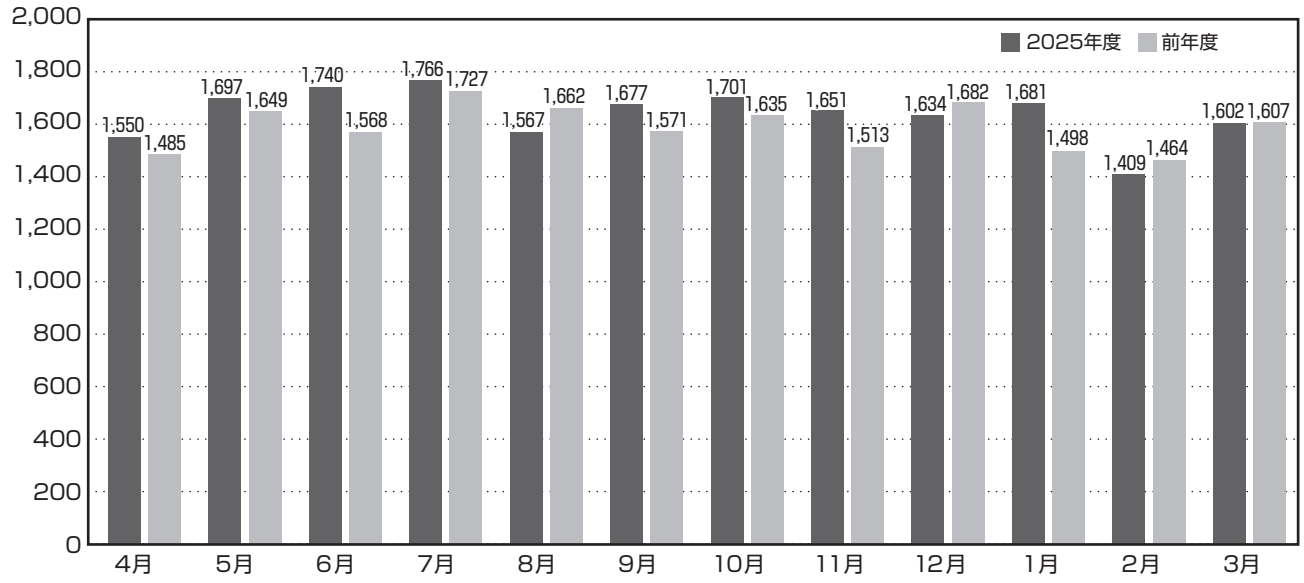
2025年度の画像診断部は、業務効率化・教育体制強化・紹介予約システムの再構築など、部門の基盤を整える一年となった。

救急依頼の増加や地域医療の変化に対応しながら、質の高い画像診断を今後も提供し続けていく。2026年度は「地域の画像診断センター」としての役割をさらに強化し、装置更新・業務自動化・連携強化を通じて、より安全で迅速な画像診断体制を構築していきたいと考える

●CT部位別件数（表1）

	2025年度	比率(%)	前年度	前年度比率(%)
頭頸部	5,696	29.0	5,094	26.7
胸部	2,082	10.6	2,819	14.8
冠動脈	855	4.3	903	4.7
胸腹部	5,860	29.8	4,995	26.2
腹部	3,711	18.9	4,041	21.2
四肢・骨	1,445	7.3	1,164	6.1
その他	26	0.1	67	0.4
合計	19,675	100.0	19,083	100.0

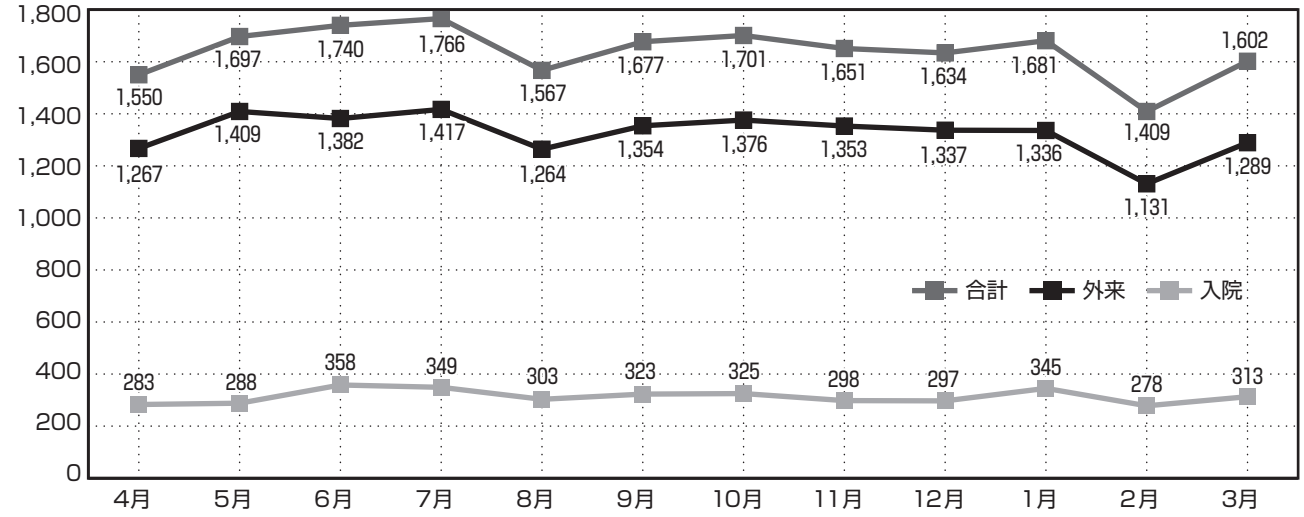
●ＣＴ件数(グラフ３)



単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
頭頸部	430	455	528	497	436	493	492	515	468	516	366	500	5,696	474.7
胸部	182	174	195	186	173	161	187	157	149	176	149	193	2,082	173.5
冠動脈	65	66	86	80	72	75	68	66	71	78	65	63	855	71.3
胸腹部	453	488	507	559	463	499	501	516	500	469	441	464	5,860	488.3
腹部	318	345	304	330	307	335	338	299	306	306	263	260	3,711	309.3
四肢･骨	100	167	119	110	115	114	112	97	136	133	121	121	1,445	120.4
その他	2	2	1	4	1	0	3	1	4	3	4	1	26	2.2
合計	1,550	1,697	1,740	1,766	1,567	1,677	1,701	1,651	1,634	1,681	1,409	1,602	19,675	1,639.6
前年度	1,485	1,649	1,568	1,727	1,662	1,571	1,635	1,513	1,682	1,498	1,464	1,607	19,061	1,588.4
増減	65	48	172	39	△ 95	106	66	138	△ 48	183	△ 55	△ 5	614	51.2

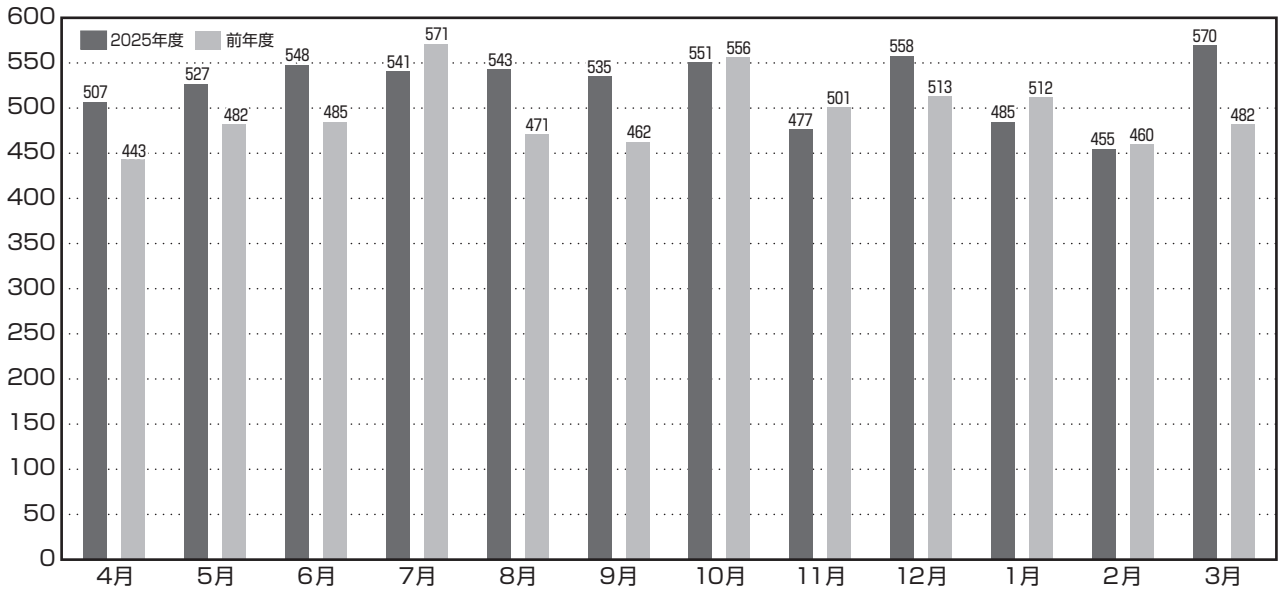
●ＣＴ入院・外来件数(グラフ４)



単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	増減	月平均	前年度月平均
外来	1,267	1,409	1,382	1,417	1,264	1,354	1,376	1,353	1,337	1,336	1,131	1,289	15,915	15,267	648	1,326	1,272
入院	283	288	358	349	303	323	325	298	297	345	278	313	3,760	3,794	△ 34	313	316
合計	1,550	1,697	1,740	1,766	1,567	1,677	1,701	1,651	1,634	1,681	1,409	1,602	19,675	19,061	614	1,640	1,588

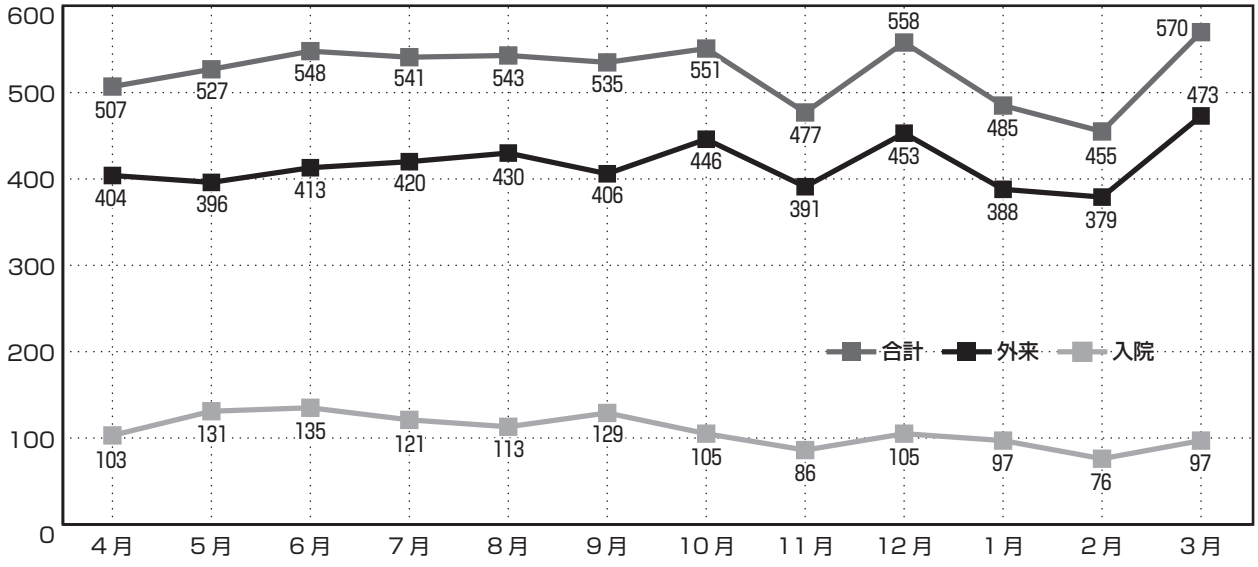
●MRI件数(グラフ5)



単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
頭頸部	289	306	316	336	326	305	339	293	321	282	253	321	3,687	307.3
椎体	57	71	68	60	68	70	65	58	62	54	59	70	762	63.5
四肢	15	24	21	32	29	42	33	17	25	31	25	36	330	27.5
胸腹部	126	110	132	100	88	95	76	74	109	90	84	100	1,184	98.7
骨盤	20	16	11	13	32	23	38	35	41	28	34	43	334	27.8
合計	507	527	548	541	543	535	551	477	558	485	455	570	6,297	524.8
前年度	443	482	485	571	471	462	556	501	513	512	460	482	5,938	494.8
増減	64	45	63	△ 30	72	73	△ 5	△ 24	45	△ 27	△ 5	88	359	29.9

●MRI入院・外来件数(グラフ6)



単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	増減	月平均	前年度月平均
外来	404	396	413	420	430	406	446	391	453	388	379	473	4,999	4,766	233	417	397
入院	103	131	135	121	113	129	105	86	105	97	76	97	1,298	1,176	122	108	98
合計	507	527	548	541	543	535	551	477	558	485	455	570	6,297	5,942	355	525	495

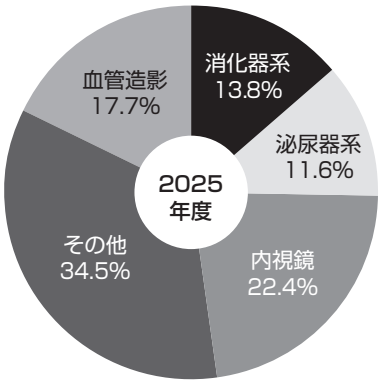
●ＭＲＩ部位別件数(表２)

	2025年度	比率(%)	前年度	前年度比率(%)
頭　頚　部	3,687	58.6	3,708	62.4
椎　　体	762	12.1	564	9.5
四　　肢	330	5.2	297	5.0
胸　腹　部	1,184	18.8	928	15.6
骨　　盤	334	5.3	441	7.4
合　　計	6,297	100.0	5,938	100.0

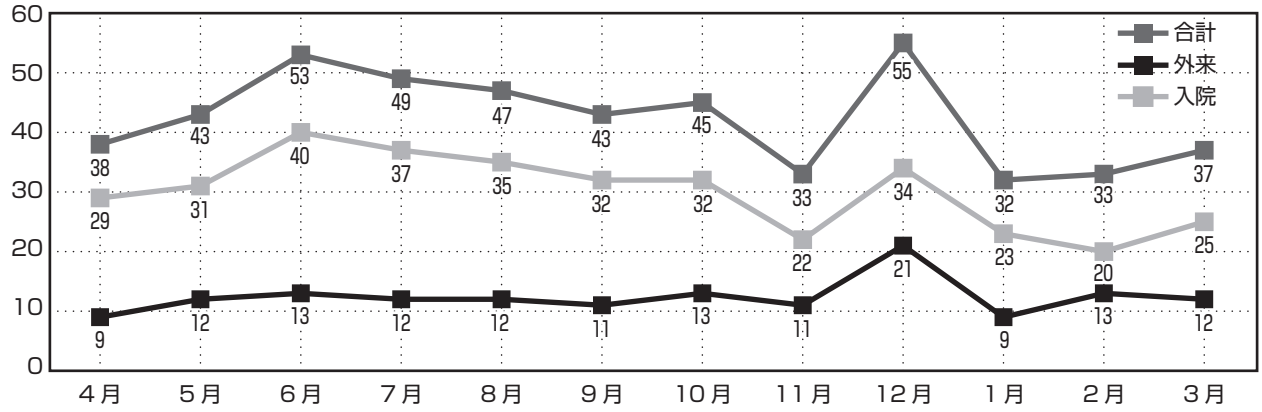
●TV･DSA･ESWL検査内容別件数(グラフ７)

単位：件

	内　容	件　数	比率(%)	前年度	前年度比率(%)	増減
消化器系	食　道	1	0.2	1	0.1	0
	胃透視	86	13.0	196	25.9	△ 110
	小　腸	0	0.0	0	0.0	0
	大　腸	4	0.6	2	0.3	2
	計	91	13.8	199	26.3	△ 108
泌尿器系	ドレーン手技	11	1.7	2	0.3	9
	ＣＵＧ	20	3.0	14	1.9	6
	Ｒ　Ｐ	0	0.0	3	0.4	△ 3
	ＥＳＷＬ	46	7.0	29	3.8	17
	計	77	11.6	48	6.3	29
内視鏡	Ｂ　Ｆ	0	0.0	0	0.0	0
	Ｃ　Ｆ	17	2.6	33	4.4	△ 16
	ＥＲＣＰ	131	19.8	91	12.0	40
	ＤＩＣ	0	0.0	0	0.0	0
	計	148	22.4	124	16.4	24
その他	ドレーン手技	30	4.5	64	8.5	△ 34
	イレウス管	19	2.9	17	2.2	2
	整形系	53	8.0	46	6.1	7
	ＣＶ挿入	44	6.7	33	4.4	11
	嚥下造影	49	7.4	53	7.0	―
	その他	33	5.0	37	4.9	△ 4
	計	228	34.5	250	33.1	△ 22
血管撮影		117	100.0	135	100.0	△ 18
計		117	17.7	135	17.9	△ 18
合　計		**661**	**100.0**	**756**	**100.0**	**△ 95**



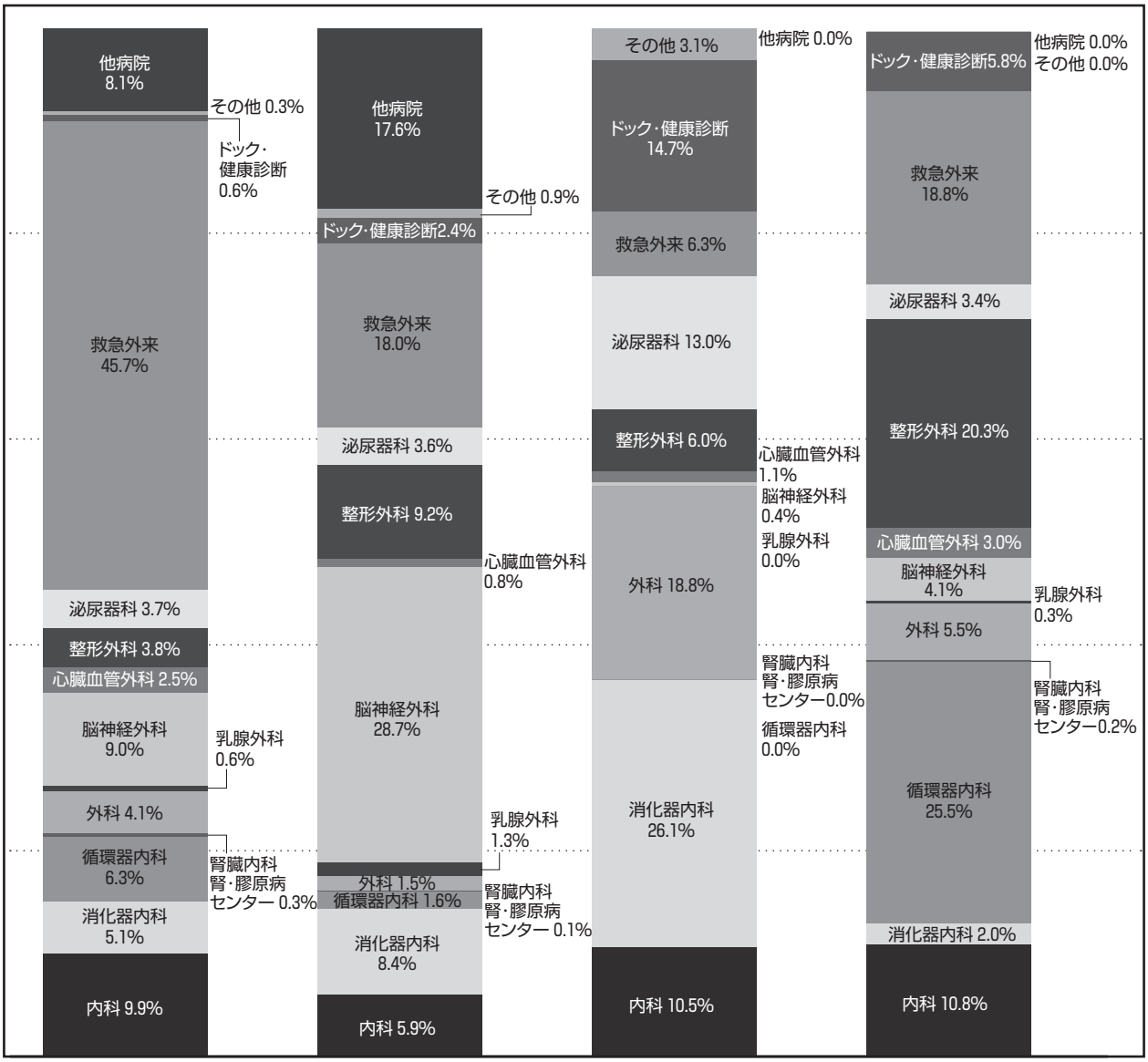
●TV検査入院・外来件数(グラフ８)



単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	増減
外来	9	12	13	12	12	11	13	11	21	9	13	12	148	247	△ 99
入院	29	31	40	37	35	32	32	22	34	23	20	25	360	346	14
合計	38	43	53	49	47	43	45	33	55	32	33	37	508	592	△ 84

●診療科別装置使用率(グラフ9)



単位：件

	CT		MRI		TV・DSA・ESWL		一般撮影	
	件数	比率(%)	件数	比率(%)	件数	比率(%)	件数	比率(%)
内科	1,957	9.9	373	5.9	58	10.5	3,875	10.8
消化器内科	1,008	5.1	532	8.4	144	26.1	711	2.0
循環器内科	1,232	6.3	102	1.6	0	0.0	9,105	25.5
腎臓内科 腎・膠原病センター	56	0.3	6	0.1	0	0.0	63	0.2
外科	801	4.1	92	1.5	104	18.8	1,965	5.5
乳腺外科	115	0.6	77	1.3	0	0.0	191	0.3
脳神経外科	1,765	9.0	1,808	28.7	2	0.4	1,469	4.1
心臓血管外科	484	2.5	51	0.8	6	1.1	1,064	3.0
整形外科	750	3.8	577	9.2	33	6.0	7,272	20.3
泌尿器科	730	3.7	224	3.6	72	13.0	1,203	3.4
救急外来	8,996	45.7	1,136	18.0	35	6.3	6,738	18.8
ドック・健康診断	122	0.6	154	2.4	81	14.7	2,086	5.8
その他	58	0.3	57	0.9	17	3.1	13	0.0
他病院	1,601	8.1	1,108	17.6	0	0.0	10	0.0
合計	19,675	100.0	6,297	100.1	552	100.0	35,765	99.7
前年度	19,061	100.0	5,922	100.1	756	100.0	64,321	100.0
増減	614	103	375	106	△ 204	73	△ 28,556	56